

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|-----------------|
| ○事業所名 | SEDスクール四日市 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 10月 15日 | | ～ 2025年 10月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 32 | (回答者数) 21 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 10月 15日 | | ～ 2025年 10月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 9日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 1 | その時々のお子様の興味関心に寄り添い、個々に合わせた独自のプログラムを組むことで、お子さまが楽しいと感じるセッション内容を提供することができる。 | 保護者様からの聞き取りやお子さまとのやりとりの中で好きな遊びやキャラクターなどを職員で共有し、教材に取り入れている。少し頑張り内容のプログラムでも、楽しみながらいつの間にかできるようになった、という達成感を感じることができるよう工夫している。 | 引き続きいろいろな情報を職員で共有し、お子さまの興味関心に合ったプログラム内容を提供できるように尽力している。 |
| 2 | 療育遊具や環境が充実しているため、支援内容の選択肢が幅広い。 | グループ内外の研修に参加し事業所内で共有しているので、参加した研修内容を個々のセッションに合わせて応用するようにしている。その都度取り入れ方の計画と成果を話し合うことで、設備を活かした内容にできるよう、毎回改善できる仕組みになっている。 | 工夫した内容を全国にあるSEDスクールと共有することで、違った視点からも意見をもらえる環境になっている。 |
| 3 | 毎回保護者様と職員でお話する時間があり、職員で共有できている。 | 共有した内容をもとに経過を見たり、後追いをしてお子様の成長を職員それぞれの視点から話し合い、次へ繋がる支援内容に織り込んでプログラムへ反映させている。また、職員から出たお子さまの成長に関しては保護者様へお伝えすることで、保護者様とも喜びを共有させていただいている。 | お子さまの成長を感じることでより強みを活かした支援内容に繋げ、自信を持って就学に臨んでいけるようサポートをしていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 職員数の確保が困難になっている。 | 質の高い療育の提供をする為の会社内の取り組みと自己研鑽にかかる時間の確保と仕事量の調整が困難になっていると考えられる。 | 質の高い支援に対する意識の改善と支援方法のシステムを組織的に改革し、時間はかかっても持続可能な方法を既存の職員と新しく入職する職員が定着できるように徹底していく。 |